

## 事務事業評価票

担当課	総務部	まちづくり交流課	定住促進係	事務事業No.	12137		
事務事業名	定住促進事業			会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	2	項	1
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化						
施策項目	定住促進ビジョンの推進						
前期計画掲載頁	59	頁	個別計画	第2期定住促進ビジョン			頁
事業期間	平成29年	～	平成33年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	人口減少対策については、安定した行政運営を行っていく上で、喫緊に対応しなければならない重大な課題である。 地域の人口減少に歯止めをかけ、今後も継続して活力ある地域を維持するために、市民と行政が連携・協働して、移住・定住促進に向けた施策を総合的かつ戦略的に実施する。								
事業内容	①定住奨励事業の実施 ②移住相談窓口の充実 ③都市部向け移住セミナー・魅力ツアーの実施 ④移住者交流事業 ⑤結婚支援事業 ⑥空き家バンク・物件情報の提供 ⑦連携自立圏移住交流・若者交流事業 ※主な定住奨励事業 ・マイホーム取得助成事業、・空き家改修事業、・商品券交付事業（U・ターン、新婚）、有料道路負担軽減事業								
事業費	年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度			
	総事業費（決算額）	28,852,862 円		40,594,479 円		51,308,842 円			
	財源内訳	国庫支出金	円		円		円		
		県支出金	円		4,893,000 円		6,568,500 円		
		起債	円		円		円		
		その他財源	668,750 円		1,224,000 円		5,211,533 円		
一般財源		28,184,112 円		34,477,479 円		39,528,809 円			
活動指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値	
	① 首都圏における移住相談会	回	12	17	17	10	170.0%	15	
	② 体験ツアーの開催	回	5	4	5	5	100.0%	5	
	③ 結婚支援事業の開催	回	4	4	5	2	250.0%	4	
成果指標	1. 数値で表せる指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	① 市窓口を通じた移住実績	世帯	20	23	36	25	144.0%	30	
	② 移住相談件数	件	290	461	602	300	200.7%	500	
	③ 合コンでのカップル成立数	組	6	11	8	10	80.0%	10	
	2. 数値で表せない効果	（指標）							

## 【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3		18		

## 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	人口減少に歯止めをかけるため、第二期定住促進ビジョンに基づき、さまざまな施策・事業を実施しているが、多くの自治体と同じような施策を実施しており、今まで以上に市の特徴を活かした独自性の高い施策・事業の実施が課題である。 第二期定住促進ビジョンの見直しを図るうえで、これまでの施策の分析・検証を実施し、事業の再検討を行う。 移住・定住には、仕事と住居が重要な要因で、仕事については求職者と求人とのマッチングが、また、住居については、中古物件をを求める声が多く、空き不動産の有効活用を図ることが課題となっている。
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	移住・定住に関するニーズや課題を的確に把握し、第二期定住促進ビジョンを見直すため、転入・転出者アンケートやこれまでの移住相談での聞き取りの内容などを検証し、全庁的に情報共有しながら独自性の高い施策・事業について検討する。 また、仕事については、ハローワークや庁内関係部署と連携を密にし、相談者に則した情報を提供し、住居については、自治会にご協力いただいた空き家調査を基に所有者の意向を調査し、空き家バンクへの登録を図る。さらに、信州大学・東京大学との空き不動産の有効活用に関する共同研究の中から生まれた活用例を成功モデルとして確立していく。

## 事務事業評価票

担当課	総務部	まちづくり交流課	市民活動支援係	事務事業No.	12182		
事務事業名	市民活動促進事業			会計	一般会計		
まちづくりのテーマ	第5 市民の参画と協働でつくるまち			款	2	項	1
施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進						
施策項目	市民参画と協働によるまちづくりの推進						
前期計画掲載頁	92	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	19	年	～	平成		年
	根拠法令・要綱等						

事業の目的	自治会や市民活動団体の自主的なまちづくり活動がより活発に、スムーズに行えるように支援環境を整え、市民参画と協働のまちづくりの推進を図る。							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市連合自治会、大町地区連合自治会事務局</li> <li>地縁団体登録、証明</li> <li>まちづくりセミナーの開催</li> <li>まちづくりフォーラムの開催</li> </ul>							
事業費	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）	22,400,600 円	19,949,667 円	20,078,149 円				
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円			
		県支出金	円	円	円			
		起債	円	円	円			
		その他財源	5,000,000 円	2,500,000 円	2,500,000 円			
一般財源		17,400,600 円	17,449,667 円	17,578,149 円				
活動指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	① 地域懇談会	回	3	3	1	2	50.0%	3
	② セミナー・講習会	回	2	2	2	2	100.0%	2
	③ まちづくりフォーラム	回	1	1	1	1	100.0%	1
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	① 地域懇談会参加者数	人	97	79	32	50	64.0%	70
	② セミナー・講習会参加者数	人	30	68	55	60	91.7%	60
	③ まちづくりフォーラム参加者数	人	130	90	120	100	120.0%	100
	2. 数値で表せない効果 (指標)							

## 【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
点数	3	3	3	3	2	3	継続	17 / 18		

## 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<p>自治会加入率の低下、役員のみ手不足など自治会運営が難しくなっている。市から各自治会へ依頼している事項等を見直し、役員等の負担軽減を図る必要がある。また、地域懇談会開催自治会の減少が課題。</p> <p>まちづくりセミナー、講習会は参加者を増やすことが課題となっているため、市民の希望を取り入れるなどテーマを工夫するとともに、今後の活動に活かせる内容としていく。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<p>自治会長懇談会等により自治会運営の問題点、課題等を出し合い業務の整理を行う。地域懇談会は市長と直接対話する機会であるので積極的な開催を呼び掛ける。自治会加入促進のため、大町市連合自治会だより「おらほのまち」を発行し自治会活動を広報する。</p> <p>まちづくりの人材を育成する「ファシリテーション研修」を開催し好評だったため、さらに発展させ開催する。まちづくりフォーラムは幅広い世代に参加してもらえよう企画し、広報紙のほかSNSを使って周知する。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	総務部	まちづくり交流課	市民活動支援係	事務事業No.	12183
事務事業名	ひとが輝くまちづくり事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第5 市民の参画と協働でつくるまち			款	2 項 1 目 8
施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進				
施策項目	市民参画と協働によるまちづくりの推進				
前期計画登載頁	92	頁	個別計画		頁
事業期間	平成29年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大町市ひとが輝くまちづくり事業交付要綱、大町市花づくり活動事業補助金交付要綱

事業の目的	市民活動団体が行う、自主的かつ主体的な活動で公益性の高いまちづくり事業及び地域コミュニティの促進を図り地域環境美化に取り組む花づくり活動に対し財政面から支援することにより、市民参画と協働によるまちづくりを推進を図る。								
事業内容	○ひとが輝くまちづくり事業 ・伝統文化の継承事業 ・まちづくり事業（はじめようまちづくり活動、ひろげようまちづくり活動、地域創生活動） ・活動継続支援事業 ○花づくり活動事業								
事業費	年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度			
	総事業費（決算額）	11,933,480 円		14,050,260 円		14,970,858 円			
	財源内訳	国庫支出金	円		円		円		
		県支出金	円		円		円		
		起債	円		円		円		
		その他財源	円		円		円		
一般財源	11,933,480 円		14,050,260 円		14,970,858 円				
活動指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値	
	① 公開審査会	回	1	1	1	1	100.0%	1	
	② 中間調査	回	2	2	2	2	100.0%	1	
	③ 最終報告会	回	1	1	1	1	100.0%	1	
成果指標	1. 数値で表せる指標	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	① 伝統文化の継承事業補助団体	団体	0	1	3	2	150.0%	2	
	② まちづくり事業補助団体	団体	9	17	10	15	66.7%	10	
	③ 花づくり活動事業補助団体	団体	30	33	30	35	85.7%	30	
	2. 数値で表せない効果	（指標）							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	3	3	3	2	3	継続	17	18

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	制度内容を改正し2年目となったが申請団体は減少した。申請団体数は毎年増減するが、活用しやすい新たな事業枠を周知し申請団体を増やすことが課題である。また、補助期間が終了した団体が縮小、廃止とならないよう継続的な支援が必要である。
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	市民活動サポートセンター登録団体へのアンケートを基に、補助金の活用が可能な団体へ新たな事業枠である「はじめようまちづくり活動」を紹介し申請に繋げるとともに補助金額の大きい「ひろげようまちづくり活動」へ展開していきけるよう支援していく。また、事業実施により自治会の問題解決にも成果が出ているので、他の自治会にも広がっていくよう取組を紹介する機会を設ける。 補助期間が終了した団体には定期的にアンケートを行い、状況を把握し、活動が継続するよう支援する。

事務事業評価票

様式第2号

担当課	総務部	まちづくり交流課	男女共同参画・人権政策担当係	事務事業No.	121101
事務事業名	男女共同参画推進費			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第5 市民の参画と協働でつくるまち			款	2 項 1 目 10
施策目標	多様性に満ちた共生社会の実現				
施策項目	人権教育・啓発の推進				
前期計画登載頁	95	頁	個別計画	大田市第3次男女共同参画計画	
事業期間	平成16年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 男女共同参画社会基本法

**事業の目的**  
一人一人がお互いを認め合い、誰もが個性を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指して、市民に身近で関心の高い分野において、男女共同参画の視点を積極的に取り入れた取り組みを推進することにより、意識啓発を図ることを目的とする。

**事業内容**  

- 男女共同参画フォーラムの開催により全市的な啓発。
- 地域のコミュニケーターによる学習会の開催を通して地域への啓発、人材育成を図る。
- 女性団体連絡協議会、男女共同参画啓発団体「きらり会」への支援。
- 女性相談・男性相談（月2回）

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	566,763 円	662,630 円	613,670 円
		国庫支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	円	円	円
一般財源	566,763 円	662,630 円	613,670 円		

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）		
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値		
			① 男女共同参画フォーラム	回	1	1	1	1	100.0%	1
			② 各地区講座・学習会等	回	6	6	6	6	100.0%	6
③ 女性相談	回	24	24	24	24	100.0%	24			

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 男女共同参画フォーラム参加者	人	54	46	57	80	71.3%	80
	② 各地区講座・学習会等参加者	人	585	589	278	550	50.5%	200
	③ 女性相談	人	86	114		70	0.0%	30
	2. 数値で表せない効果 (指標 )							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
		評価	高い	高い	普通	重複なし	高い		
点数	3	3	2	3	3	3			

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）

各地区での学習会はコミュニケーターを中心とした実行委員会、フォーラムは男女共同参画推進団体等により実行委員会を組織し地域への啓発を行っており、住民の男女共同参画社会への理解は少しずつ進んできているが、参加者の年齢に偏りがあることが課題である。男女共同参画意識を持つことで、固定的な役割分担を少しでもなくしていくよう粘り強い啓発の推進が重要と考える。

改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）

学習会、フォーラムは幅広い世代に関心がある内容とし、広く啓発していく。また、自治会、PTA、まちづくりなどの身近な地域活動において男女共同参画の重要性の意識を持ってもらい、地域社会における方針決定の場への女性の積極的参加を進める啓発を行う。



事務事業評価票

様式第2号

担当課	総務部	まちづくり交流課	芸術文化振興・国際芸術祭推進係	事務事業No.	121131
事務事業名	芸術文化振興事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			款	2 項 1 目 13
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				
施策項目	地域の芸術文化の創造				
前期計画掲載頁	46	頁	個別計画	文化資源活用ビジョン	9 頁
事業期間	平成 27 年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の目的	<p>芸術文化が持つアートの創造性を活かし、大町市の地域資源と結びつけ、まちの潜在的な魅力を引き出すとともに、新たな魅力を創出して地域の活力につなげる。</p> <p>アーティスト・イン・レジデンス事業は、①市内芸術文化活動との連携及び芸術文化の振興、②大町市の新たな魅力を創造し芸術文化都市「信濃大町」を広く発信する、③交流人口の増加、④定住促進のトリガーなどを目的とする。</p> <p>国際芸術祭は、①国内外への強力な魅力発信、②観光誘客等による交流人口、関係人口の増、③市民参加による地域づくり、④地域の消費拡大などを目的とする。</p>
事業内容	<p>アーティスト・イン・レジデンス事業については、旧教員住宅を活用した「あさひAIR」を滞在施設として、毎年国内外から作家を招聘して滞在制作の支援を行い芸術文化振興を図るとともに、市民と作家の交流を深めながら芸術文化都市としてのブランディングの土台としていく。</p> <p>北アルプス国際芸術祭は、国内外から作家を招聘して質の高いアート作品を展開するとともに、来訪者に生活文化である地域の食を提供し、芸術文化活動が持つ強い情報発信力を最大限に活用することにより、市への新しい人の流れを生み出し交流・移住人口や定住人口の増加にも資することを旨として、3年に1度のトリエンナーレとして開催する。</p>

事業費	財源内訳	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		総事業費（決算額）	138,267,423 円	155,451,888 円	30,927,801 円
		国庫支出金	60,000,000 円	7,696,152 円	1,620,000 円
		県支出金	4,993,000 円	10,000,000 円	円
		起債	円	円	円
		その他財源	33,462,331 円	88,528,000 円	14,700,000 円
	一般財源	39,812,092 円	49,227,736 円	14,607,801 円	

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① アーティスト・イン・レジデンスアーティスト招聘	人	4	5	—			10
	② 北アルプス国際芸術祭開催	日	16	57	—			
③ 北アルプス国際芸術祭中間年イベント開催	日							

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① アーティスト・イン・レジデンス成果発表等来場者	人	1,150	—	—			1,200
	② 北アルプス国際芸術祭開催	人	14,228	54,395	—			
	③ 北アルプス国際芸術祭中間年イベント開催	人			4,897			
	2. 数値で表せない効果	<p>（指標 ③）30年度は2017年に実施した芸術祭の次年度で、次回開催に向けた基本計画の策定、座談会の開催、中間年イベントの開催、サポーター交流などを実施した。新たな企業からの協力、周辺美術館等の積極的な連携希望、地域おこし協力隊就任希望者の増、作品設置を希望する地域や施設などからの声など、第一回の開催を受けて二回目に対する新たな動きが多く出てきている。</p>						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化					
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり				継続	17 / 18
	点数	3	3	3	3	3	2					

【具体的な課題と改善】

<p><b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b></p> <p>北アルプス国際芸術祭については2020年の開催を目指し、第一回の実施により明らかとなった様々な課題解決に向け、様々な関係者との座談会や公募委員4人を含む基本計画策定検討会議などを開催して基本計画を策定した。</p> <p>二回目の開催に向けては、企業協賛の依頼や国内外メディア等との連携に取組む一方で、第一回の実績や開催理念に対し大きな評価をいただけており、前回以上に強い支援を獲得できる見込みとなっているが、一方で本事業への理解が広く市民に伝わりきらないことが課題となっている。</p> <p>アーティスト・イン・レジデンスにおいては、作家の招聘、制作支援、成果発表支援などを担うコーディネーター役の配置が課題であった。30年度においてはその役割を市内の芸術文化団体の方々に担ってもらうことを検討し、関係者と仕組みづくりの議論を重ね、元年度から実施する体制づくりを進めた。</p>
<p><b>改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b></p> <p>元年度は北アルプス国際芸術祭2020の開催前年度にあたり、準備作業も大詰めを迎える。著名なクリエイティブ・ディレクターの配置、首都圏・国外メディアの協力、地域の生産者や事業者の協力による魅力ある食の取組み、新たな大手企業のスポンサーなど、前回以上に充実した魅力のある芸術祭となり多くの来場者が予想される。</p> <p>開催にあたっては、来訪者と市民の皆さんが触れ合い、交流を促進するための機会創出と市民自身が芸術祭を楽しみ、大町の魅力を再認識していただけるよう、参加作家とのワークショップや市民との連携による作品制作、小中学校との連携によるおもてなしプログラムなどを進めていく。</p> <p>アーティスト・イン・レジデンスについては、市内の芸術文化団体のうち積極的に活動を行う3つの団体にコーディネーター役を委託し、国内外から作家を招聘し滞在制作を進め、市民との交流を深める取り組みを行う。</p>